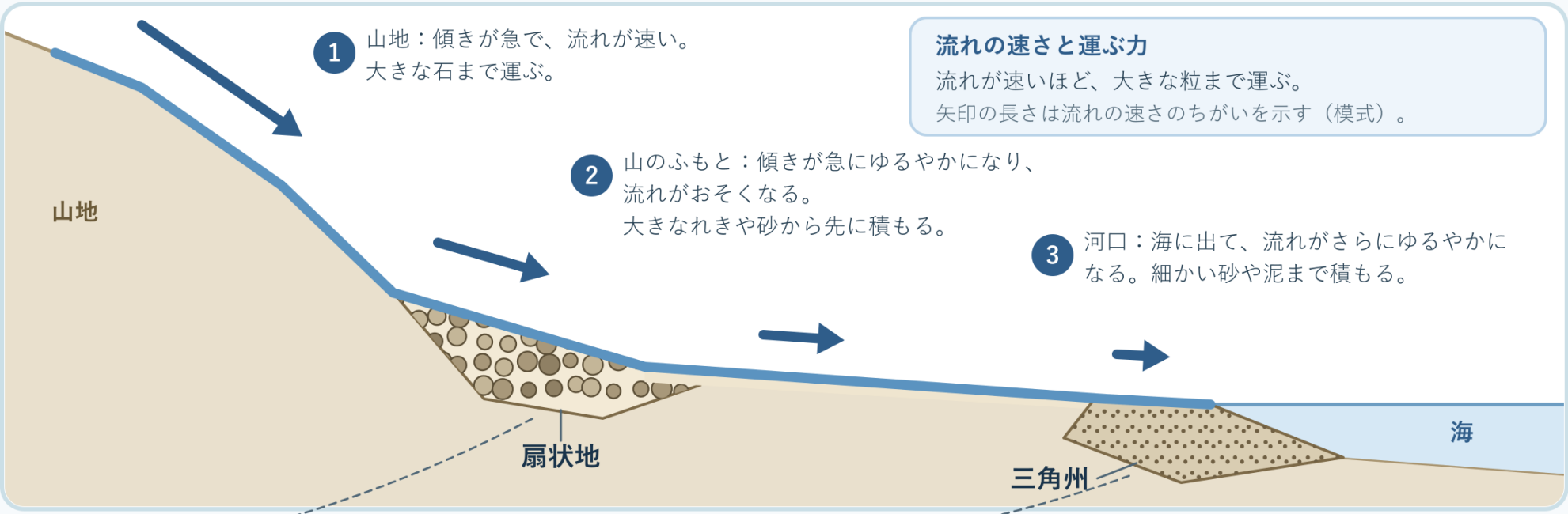
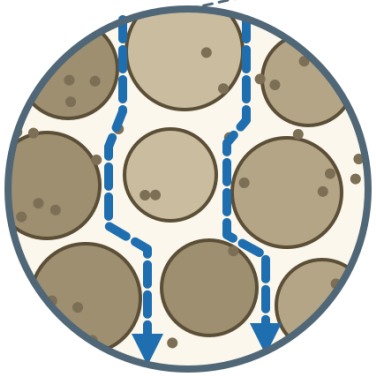
扇状地と三角州で積もる粒が違うわけ

発展：扇状地・三角州の語

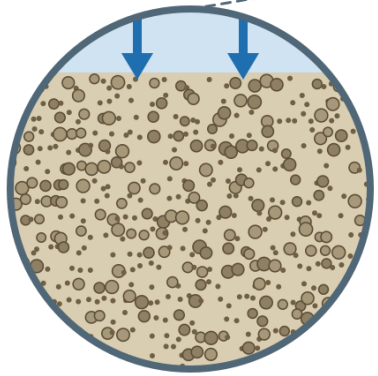
山のふもとと河口で、積もる粒の大きさはなぜ違うのだろう





扇状地の地下（拡大）

れきと砂：粒が大きい。
粒の間のすきまが大きく、
水がしみこみやすい。



三角州の地下（拡大）

細かい砂と泥：粒が小さい。
粒の間のすきまが小さく、
水がしみこみにくくたまりやすい。

2つの円は同じ倍率の模式。

※ 模式図。高さを強調した。粒の大きさは川によって違い、扇状地や三角州ができない川もある。